



介護家族のつどいに参加してみませんか？

日ごろ介護をしている方や関係者が集まり、情報交換や勉強会をしています。原則第2火曜日の午前中に実施しています。

5月には「認知症勉強会」を行い、認知症の症状と対応のしかたを勉強しました。家族の方の知りたい内容で随時勉強会も行っています。ぜひご参加ください。

<9月までの予定>

- 7月12日(火) 情報交換会
- 8月 夏休み
- 9月13日(火) 情報交換会



時間 10:30~11:30
場所 長瀬町役場小会議室

*参加希望の方は、地域包括支援センターまでご連絡ください。

認知症個別相談会を行います

家族が認知症？どこに相談したらいいの？



本人が受診や介護サービスの利用をしたがらない

診断は受けているけど、毎日の対応で困ってしまって…

認知症に関する相談会です。秘密は守ります。ご家族だけで悩まず、専門のスタッフに相談してみませんか？

- 対象者：40歳以上でご自宅で生活されている認知症の方、認知症が疑われる方で、次の①~③のいずれかに当てはまる方
 - ①認知症の診断を受けていない方、または治療を中断している方
 - ②介護保険サービスを利用していない方
 - ③何らかのサービスを利用しているが、認知症による症状が強く、対応に困っている方
- 相談スタッフ：認知症初期集中支援チーム員（公認心理師・作業療法士・保健師）
- 相談日：令和4年7月26日(火) 各40分程度
 - ①13:30~ ②14:20~ ③15:10~
- 場所：長瀬町役場 4階委員会室
- 申し込み：予約制です。令和4年7月20日(水)までに地域包括支援センターへお申し込みください

在宅介護支援センターをご利用ください

土曜日や日曜日など地域包括支援センターが休みの時に、特別養護老人ホームながとろ苑に併設している「ながとろ苑在宅介護支援センター」で介護相談を受けています。地域包括支援センターと連携をとりながら、介護相談をはじめ、高齢者の方の困り事の相談を受けます。気軽にご相談ください。

…ながとろ苑在宅介護支援センター…

【業務時間】

土曜日、日曜日、祝日
8:30から17:30まで

【連絡先】

69 - 2056



介護のご相談・記事内容の申し込み先
長瀬町役場健康福祉課
地域包括支援センター 
電話 66-3111(内線 128) fax 66-3564

自宅での転倒を予防しよう！

高齢になると、筋力、バランス能力、反射神経、視力などの低下により、転倒しやすくなります。また、高齢になってからの転倒は、骨折や出血などの大ケガにも繋がりがやすく、そのまま要介護状態になることもあります。安心してくつろげるはずの自宅ですが、転倒事故の7割は自宅で起こっているという調査結果もあります。特に年齢が高くなると段差のない所での転倒が過半数になります。普段から気をつけておけば予防できることも多いので、周囲の環境を整えるなどして転倒を予防しましょう。



【神棚】

☆高所の作業はバランスを崩し転落事故の原因に。

【スリッパ】

☆踏ん張りにくく転びやすい。かかとのある室内履きがおすすめ。

【こたつ布団】

☆つまずきやすい。裾の短めの布団にして。立ち座りも楽になる高脚タイプのこたつがおすすめ。



【床にある新聞紙など】

☆足を滑らせるので、床は整理整頓する。

【コード】

☆足をひっかけやすいので壁に沿わせるなど動線の邪魔にならない工夫を。

【敷布・カーペット】

☆ヘリにつまずきやすいので、敷かない、もしくはめくれにくい工夫を。

【深い浴槽】

☆またぐことが大変なので手摺や踏み台の設置がおすすめ。



【滑りやすい床】

☆タイルの床やステンレスの浴槽は滑りやすいので滑り止めマットがおすすめ。

【低いイス】

☆立ち座りのとき、バランスをくずしやすい。高めのイスがおすすめ。

他にも、階段や玄関など転びやすい場所があります。ホームセンターで手すりを販売しているので、自分でつけることもできます。介護認定を受けている人は介護保険を利用して環境を整備することもできますので、事前にご相談ください。

